

第2回クビアカツヤカミキリ防除対策強化検討会の概要 (令和7年9月3日開催)

本検討会においては、有識者、都道府県及び関係省庁を参集した上で、本年度、6府県で実施されているクビアカツヤカミキリ防除対策に係る実証の中間報告及びクビアカツヤカミキリの生態等に関する知見や調査・防除に関する技術開発状況について共有・検討を実施した。

1. 本検討会の参加者について

本検討会では、有識者3名を始めとして都道府県、環境省（地方機関含む）、林野庁、農林水産省（地方機関含む）から258名の参加があった（対面及びWebの併用開催）。

2. 実証の進捗状況について

果樹産地におけるクビアカツヤカミキリの防除対策に係る実証に取り組む6府県（埼玉県、兵庫県、京都府、奈良県、和歌山県及び徳島県）から、令和7年度の取組について中間報告を行った。また、実証を進める上で、被害木の早期発見や防除手法の統一的な実施が課題として共有があり、有識者からフラス調査の適期やネット被覆の方法、幼虫の掘り取り手法など、防除対策に関する技術的な助言があった。

3. 調査・防除に関する技術開発について

各府県から寄せられたクビアカツヤカミキリの調査・防除に関する課題等について、共有・議論を行った。また、有識者から技術開発に係る最新情報の提供とともに、技術的な助言があった。

4. 今後の実証について

次回のクビアカツヤカミキリ防除対策強化検討会については、本年度の実証の成果がとりまとめられる年明け以降に開催することとなった。

以上